平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名　江崎グリコ株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　2206　URL　http://www.glico.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江崎勝久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 松本節範　TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日　平成24年11月1日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	156,713	△0.4	5,188	△26.3	5,594	△22.9	3,064	△20.7
24年3月期第2四半期	157,336	1.6	7,039	△24.2	7,255	△25.7	3,863	△31.7

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　2,327百万円　(△42.9%)　24年3月期第2四半期　4,078百万円　(△6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.97	―
24年3月期第2四半期	34.05	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	216,573	108,617	49.3	938.25
24年3月期	207,292	107,354	50.7	924.92

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　106,667百万円　24年3月期　105,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	10.00	15.00
25年3月期	―	5.00			
25年3月期(予想)			―	10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,500	2.2	5,200	9.8	5,600	6.6	2,900	―	25.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 ―社 (社名) 、 除外 2社 (社名) 東京グリコ株式会社、北海道グリコ株式会社

(注)詳細は、四半期決算短信3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信4ページ「会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	144,860,138 株	24年3月期	144,860,138 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	31,171,631 株	24年3月期	31,267,840 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	113,649,778 株	24年3月期2Q	113,482,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 7
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景として回復基調にはあるものの、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性の中、世界経済の下振れや金融資本市場の変動等の影響が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。食品業界におきましても、原材料価格の高止まりや消費者の節約志向の浸透等によって、引き続き厳しい競争が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売を始めとして、市場を盛り上げる販売促進対策、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上高は、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門、食品原料部門が増収となりましたが、菓子部門、冷菓部門及び食品部門は減収となり、全体では156,713百万円（前年同期比0.4%減）となりました。利益面につきましては、販売品種構成の変化や原材料価格の上昇等により売上原価率はアップし、量販店店頭での積極的な販売対策を実施したこと等により販売促進費等が増加したため、営業利益は5,188百万円（同26.3%減）、経常利益は5,594百万円（同22.9%減）、四半期純利益は3,064百万円（同20.7%減）となりました。

各セグメント別の売上の状況は、以下のとおりであります。
なお、セグメント区分の変更につきましては、９ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

・売上の状況

（単位：百万円、%）

	前第２四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）		当第２四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）		増減額	対前年同期比	（参考）前連結会計年度（平成24年３月期）	
	金　額	構成比	金　額	構成比			金　額	構成比
菓子	39,359	25.0	36,819	23.5	△2,539	93.5	81,599	28.1
冷菓	42,722	27.2	42,596	27.2	△126	99.7	63,872	22.0
食品	12,614	8.0	12,067	7.7	△546	95.7	25,964	9.0
牛乳・乳製品	45,842	29.1	47,379	30.2	1,537	103.4	85,235	29.4
畜産加工品	10,034	6.4	10,853	6.9	819	108.2	20,281	7.0
食品原料	4,427	2.8	4,485	2.9	58	101.3	8,350	2.9
その他	2,335	1.5	2,510	1.6	175	107.5	4,675	1.6
合計	157,336	100.0	156,713	100.0	△623	99.6	289,980	100.0

＜菓子部門＞

国内では、ビスコ缶が大きく増販した「ビスコグループ」等は前年同期を上回りましたが、「ポッキーグループ」、“キスミントガム”等は前年同期を下回りました。また、海外では、上海の子会社が前年同期を上回りましたが、洪水被害を受けたタイの子会社は前年同期を大きく下回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は36,819百万円となり、前年同期(39,359百万円)に比べ6.5%の減収となりました。

＜冷菓部門＞

“牧場しぼり”、“パピコ”等は前年同期を上回りましたが、“アイスの実”、“パリッテ”、商品回収を行った“ジャイアントコーン”等は前年同期を下回りました。一方、卸売販売子会社２社は、前年同期を上回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は42,596百万円となり、前年同期(42,722百万円)に比べ0.3%の減収となりました。

＜食品部門＞

温めなくても食べられる常備用が好調な“カレー職人”等は前年同期を上回りましたが、“２段熟カレー”、“炒飯の素”等は前年同期を下回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は12,067百万円となり、前年同期(12,614百万円)に比べ4.3%の減収となりました。

＜牛乳・乳製品部門＞

“ドロリッチ”等は前年同期を下回りましたが、“カフェオーレ”、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”等は前年同期を上回りました。また、キリンビバレッジ（株）からの業務受託による売上も前年同期を上回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は47,379百万円となり、前年同期(45,842百万円)に比べ3.4%の増収となりました。

＜畜産加工品部門＞

主力のソーセージは前年並みとなりましたが、ハムやベーコン等が前年同期を上回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は10,853百万円となり、前年同期(10,034百万円)に比べ8.2%の増収となりました。

＜食品原料部門＞

“Ａ－グル”は前年同期を下回りましたが、“ＣＣＤ（サイクリッククラスターデキストリン）”等が前年同期を上回りました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は4,485百万円となり、前年同期(4,427百万円)に比べ1.3%の増収となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は216,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,280百万円増加しました。流動資産は103,333百万円となり、9,831百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加となります。固定資産は113,239百万円となり、550百万円減少しました。主な要因は、投資有価証券の償還による減少及び評価差額の減少によるものです。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は107,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,017百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加となります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は108,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,262百万円増加しました。主な要因は、当四半期純利益3,064百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,135百万円の減少となります。この結果、自己資本比率は49.3%（前連結会計年度末比1.4%減）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月15日の「平成24年３月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成25年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	300,000	6,000	6,100	3,200	28.17
今回修正予想（B）	296,500	5,200	5,600	2,900	25.51
増減額（B-A）	△3,500	△800	△500	△300	―
増減率（%）	△1.2	△13.3	△8.2	△9.4	―
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	289,980	4,738	5,252	242	2.13

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において連結子会社でありました東京グリコ株式会社および北海道グリコ株式会社については、それぞれ平成24年７月20日、平成24年９月26日に清算結了したため、連結の範囲から除いております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ70百万円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,598	22,667
受取手形及び売掛金	34,230	38,641
有価証券	17,511	18,810
商品及び製品	7,951	8,003
仕掛品	771	919
原材料及び貯蔵品	10,701	9,216
その他	6,008	5,428
貸倒引当金	△272	△354
流動資産合計	93,502	103,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,557	24,014
機械装置及び運搬具（純額）	22,353	22,427
土地	15,517	15,520
その他（純額）	4,754	7,347
有形固定資産合計	67,183	69,310
無形固定資産		
ソフトウエア	3,742	3,155
その他	430	533
無形固定資産合計	4,173	3,689
投資その他の資産		
投資有価証券	32,473	29,256
その他	10,089	11,198
貸倒引当金	△130	△214
投資その他の資産合計	42,433	40,240
固定資産合計	113,790	113,239
資産合計	207,292	216,573
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,030	36,050
短期借入金	9,050	9,271
未払費用	20,601	21,276
未払法人税等	965	1,585
販売促進引当金	1,537	1,575
役員賞与引当金	51	－
事業構造改善引当金	376	98
その他	6,025	7,783
流動負債合計	68,637	77,641

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
固定負債		
長期借入金	15,391	15,099
退職給付引当金	10,570	10,096
事業構造改善引当金	620	357
その他	4,718	4,761
固定負債合計	31,300	30,314
負債合計	99,938	107,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,434	7,437
利益剰余金	118,886	120,815
自己株式	△26,620	△26,539
株主資本合計	107,473	109,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△249	△933
繰延ヘッジ損益	△204	△123
為替換算調整勘定	△1,955	△1,761
その他の包括利益累計額合計	△2,409	△2,819
少数株主持分	2,291	1,949
純資産合計	107,354	108,617
負債純資産合計	207,292	216,573

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	157,336	156,713
売上原価	89,099	89,395
売上総利益	68,237	67,317
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	14,329	14,331
販売促進費	19,800	20,831
販売促進引当金繰入額	378	38
広告宣伝費	5,855	5,807
退職給付引当金繰入額	653	758
その他	20,181	20,362
販売費及び一般管理費合計	61,198	62,129
営業利益	7,039	5,188
営業外収益		
受取利息	132	100
受取配当金	396	453
その他	626	622
営業外収益合計	1,155	1,177
営業外費用		
支払利息	119	135
為替差損	174	155
その他	645	480
営業外費用合計	939	771
経常利益	7,255	5,594
特別利益		
投資有価証券償還益	－	17
貸倒引当金戻入額	2	－
投資有価証券売却益	1	5
特別利益合計	3	23
特別損失		
減損損失	160	134
投資有価証券評価損	452	400
災害による損失	－	447
その他	74	480
特別損失合計	687	1,462
税金等調整前四半期純利益	6,572	4,154
法人税、住民税及び事業税	2,804	1,856
法人税等調整額	△277	△406
法人税等合計	2,526	1,450
少数株主損益調整前四半期純利益	4,045	2,704
少数株主利益又は少数株主損失（△）	182	△360
四半期純利益	3,863	3,064
少数株主利益又は少数株主損失（△）	182	△360
少数株主損益調整前四半期純利益	4,045	2,704

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△684
繰延ヘッジ損益	75	80
為替換算調整勘定	△30	226
その他の包括利益合計	32	△377
四半期包括利益	4,078	2,327
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,964	2,655
少数株主に係る四半期包括利益	114	△327

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	菓子	冷菓	食品	牛乳・乳製品	畜産加工品	食品原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	39,359	42,722	12,614	45,842	10,034	4,427	155,001	2,335	157,336	－	157,336
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	－	12	9	56	79	1,349	1,429	△1,429	－
計	39,360	42,722	12,614	45,855	10,044	4,483	155,081	3,684	158,765	△1,429	157,336
セグメント利益又は損失（△）	481	5,796	179	1,494	△572	395	7,774	△82	7,691	△652	7,039

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△652百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額358百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,011百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	菓子	冷菓	食品	牛乳・乳製品	畜産加工品	食品原料	計				
売上高											
外部顧客への売上高	36,819	42,596	12,067	47,379	10,853	4,485	154,203	2,510	156,713	－	156,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	－	95	117	70	284	1,509	1,793	△1,793	－
計	36,820	42,596	12,067	47,474	10,971	4,556	154,487	4,019	158,507	△1,793	156,713
セグメント利益又は損失（△）	△636	4,772	△327	1,151	△343	340	4,956	△24	4,932	256	5,188

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額256百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額326百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
４．４ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得し

た有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
　これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の「菓子」のセグメント利益が1百万円、「冷菓」のセグメント利益が30百万円、「食品」のセグメント利益が0百万円、「牛乳・乳製品」のセグメント利益が8百万円、「畜産加工品」のセグメント利益が2百万円、「食品原料」のセグメント利益が0百万円、「その他」のセグメント利益が4百万円増加しております。また、報告セグメントに帰属しないセグメント利益の調整額に22百万円含んでおります。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
　第１四半期連結会計期間より、グリコ栄養食品(株)の会社分割に伴って損益管理区分を変更したため、従来「畜産加工品」に含まれていた「食品原料」について、新たに報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しており、前第２四半期連結累計期間の「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。